〇建築構造力学

試験区分：R8 前期学力	**教科名**：建築構造力学	**問題番号**：２の１　問１
不静定構造物の代表的な解析手法の一つであるたわみ角法について、解法の理解と運用能力を確認することを目的とする。節点が移動しないラーメン構造を対象とし、①基本式の立式、②節点方程式の立式、③材端モーメントの算定、④算定した材端モーメントを用いた応力図の作成という一連の解法手順を体系的に理解し、正しく処理できているかを評価する。		

試験区分：R8 前期学力	**教科名**：建築構造力学	**問題番号**：２の２　問２
不静定梁の支点反力を計算する問題である。解答するにあたり、不静定構造であることに気付くことができるか、エネルギー法を理解しているかを問う。		